

都市再生整備計画 事後評価シート
喜茂別市街地地区

平成23年2月

北海道喜茂別町

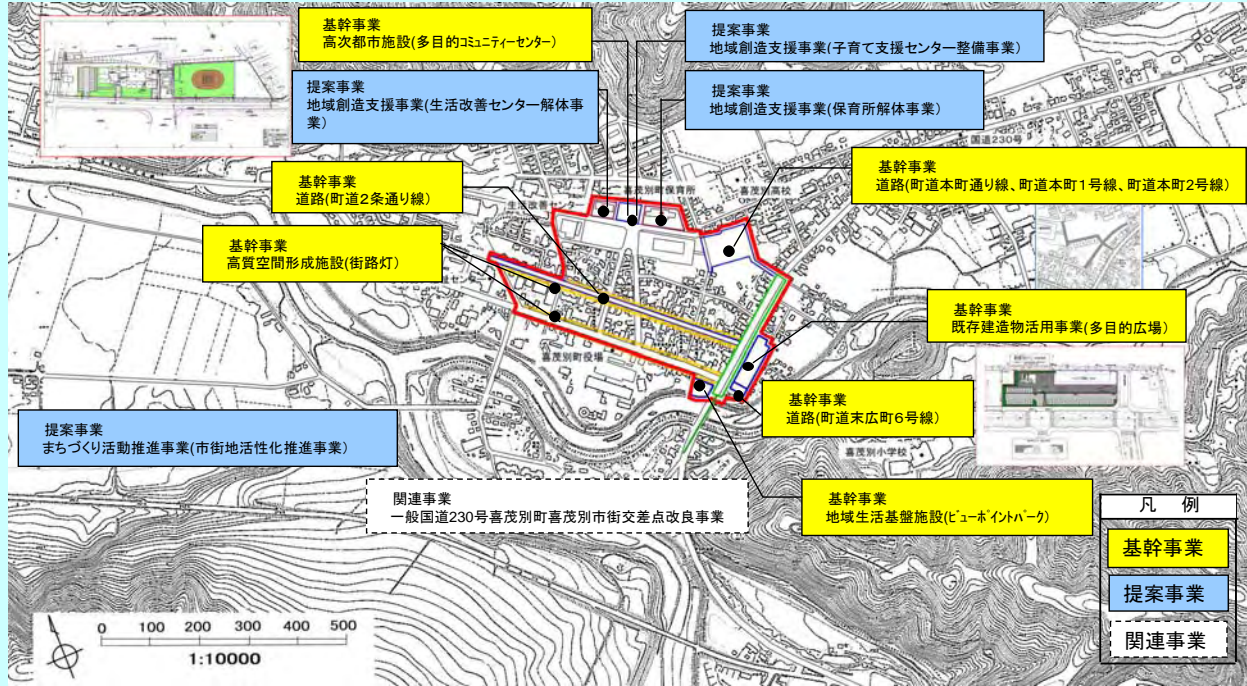
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	喜茂別町		地区名	喜茂別市街地地区			面積	14.1ha	
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	998百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路:町道2条通り線、町道末広町6号線、町道本町通り線、町道本町1号線、町道本町2号線 高質空間形成施設:街路灯整備工事 高次都市施設:多目的コミュニティセンター整備工事 既存建造物活用事業:郷の駅整備工事 まちづくり活動推進事業:市街地活性化推進事業									
		提案事業	地域創造支援事業:保育所解体工事、生活改善センター解体工事、子育て支援センター整備工事									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	上下水道移設整備事業			国道230号交差点整備事業に伴う支障物件の移設について、移設しなくても支障がないことによる。			影響なし。			
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設:ピューポイントパーク整備工事			これまでピューポイントパーク整備については、既存建造物活用事業で整備することとしていたが、事業項目の適正化を行った。			影響なし。			
提案事業												
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	-		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	コミュニティ施設の利用者数	人/年	11,666	H16	14,340	H22	22,668	○	あり: なし:	生活改善センター、保育所、子育て支援センターを統合したことにより、従前使用されていた老人クラブ活動等は別施設に移管されたが、子育て支援の充実など総合的な交流拠点機能が充実したため。	平成23年4月
	指標2	商業販売額	百万円/年	721	H16	793	H22	887	○	あり: なし:	平成20年と比較して、平成21年は売上額が増加しており、また、市街地地区については、地区の再整備に伴う郷の駅の整備やコンビニエンスストアの移設によりエリアとしての売上額が増加したため。	平成23年5月
指標3	郷の駅立ち寄り客数	人/年	0	H16	500,000	H22	635,535	○	あり: なし:	喜茂別町は札幌、千歳、ニセコ方面への玄関口であり、市街地に郷の駅を整備したことにより、観光客の休憩スポットとし、また、地元農産物の直売などによる入込み客が増加したため。	平成23年4月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 郷の駅意見交換会の実施により、郷の駅を拠点とした観光客誘致について話し合われるなど、議論する機会が増えた。また、まちづくりに対する意識の高揚も図られた。 多目的センターについて、バリアフリー化により利用者の安全性が確保できた。 											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況								今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 									
	住民参加プロセス	市街地活性化計画実施委員会	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 								今後も町民・町内各種団体と連携しながら、必要に応じて実施していく。	
持続的なまちづくり体制の構築	なし	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 										

様式2-2 地区の概要

喜茂別市街地地区(北海道喜茂別町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 景観整備による賑わいの再生と安全で快適な生活基盤の整備 目標1: 活気と賑わいのある美しい市街地の再生 目標2: 少子高齢化に向けた生活基盤の整備 目標3: 安全で快適な街づくりの推進	コミュニティ施設の利用者数	単位: 人/年	11,666	H16	14,340	H22	22,668	H22
	商業販売額	単位: 百万円/年	721	H16	793	H22	887	H22
	郷の駅立ち寄り客数	単位: 人/年	0	H16	500,000	H22	635,535	H22



町道2条通り線



多目的コミュニティセンターの整備



郷の駅の整備



まちの課題の変化

- ・国道230号沿いに郷の駅を整備したことにより、相乗効果で町内消費も高まり、過疎化等による町内消費の急激な減少への対応ができたが、今後は国道沿いの空き地や空き店舗の対策や少子高齢化、人口の減など対策が必要である。
- ・国道改良事業による住居の移転に対する代替確保については、代替地の道路整備を行ったことにより移転の促進が図られた。
- ・保育所、子育て支援センター、多目的コミュニティセンターを統合した施設の建設により、老朽化により対応できなかった住民ニーズに対応できるようになった。
- ・国道230号拡幅工事に伴い

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 町内消費の向上のため、町内空き地・空き店舗対策の仕組みづくりを行う。また、郷の駅など新たな観光エリアのPRを行う。
- 羊蹄山麓景観ガイドラインに基づいた事業展開を図る。また、国道沿線の町外施設の案内看板の撤去など北海道と連携した取り組みが必要である。
- 少子高齢化、人口減に対応するため、保育所、子育て支援センター、多目的コミュニティセンターの利用促進を図る。